

合併に伴う合理化計画 友好都市提携後の計画

環境都市宣言 案内板設置について 鳥居 誠明

問 名栗村との合併で、職員六十人、経費四億円が増となる。

市の一般会計の一割を占める委託料削減の原動力に。また、市民の行政参加により合理化の推進を。

答 現在、有効な職員の受け入れ計画を検討している。市民と行政が協働出来る新たな手法について検討していきたい。

問 友好都市、高萩市との交流について具体的な計画の提示を。

また、立案の段階から市民参加を。

答 両市民の主導で友好交流を進めてほしい。今後、児童・生

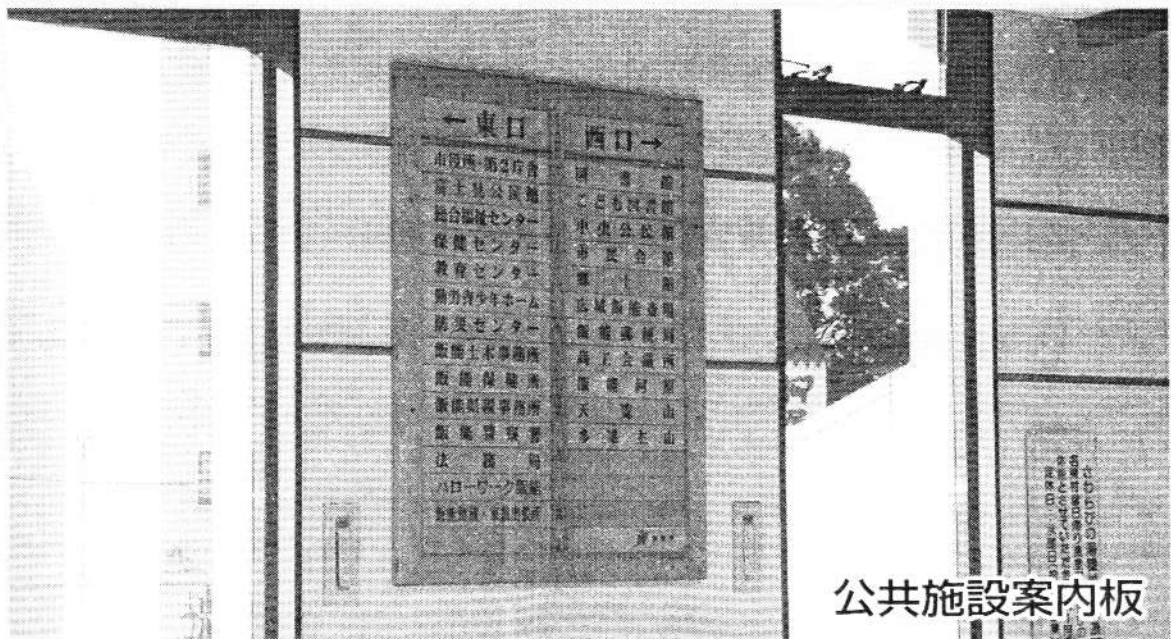
徒の交流やスポーツ大会、産業祭などへの相互参加も行いたい。

問 環境都市宣言をして市民が参加できる環境関連企画の柱に。

答 都市宣言は市としての特長がありイメージアップも図れるもの。合併をにらんで進めたい。

問 災害避難場所への誘導案内板と公共施設への案内板の設置検討・進ちよく状況は。

答 災害避難場所への誘導案内板は今年度五十枚を予定。公共施設の案内板は東飯能駅に設置済みで他については調査中。



公共施設案内板